

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	<input type="radio"/>
	地域医療・福祉・介護、教育	<input type="radio"/>	観光・交流	<input checked="" type="radio"/>
	地域コミュニティ・集落再生	<input type="radio"/>	環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	<input type="radio"/>
ふりがな	はながき のりゆき			
氏名	花垣 紀之			
所属	名称	(一財)都市農山漁村交流活性化機構		
所属	役職	業務第1部 グリーン・ツーリズムチーム長		
連絡	住所 (職場)	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-11 石川ICOビル3階		
	連絡先	e-mail	hanagaki[アットマーク]kouryu.or.jp	
		TEL 03-6206-0953	FAX 03-6381-0739	
連絡方法	E-Mailでお願いします			
略歴	平成6年3月、玉川大学(農学部)卒業 平成6～12年度、(財)農林漁業体験協会 勤務 平成13～24年度、(財)都市農山漁村交流活性化機構 勤務 平成25年度～、(一財)都市農山漁村交流活性化機構 勤務			
著作・論文等	農泊教育旅行受入手引き(2024)農泊旅行博・商談会運営事務局(株)JTB 内)、受入地域団体に求められる「新型コロナウイルス感染拡大予防」の取組(要点整理) (2020)(一財)都市農山漁村交流活性化機構、「社会教 2009.7(NO.757)子どもたちを自然に放り出そう」(2009) (財)全日本社会教育連合会 共著、「食料・農業・農村 21世紀の日本を考える NO.45 子どもは「農家泊体験」で大きく成長する」(2009) 農文協 共著			
取組概要	1. 「農家民宿(農林漁業体験民宿)」の全国的な普及に寄与した(平成10年度～)。 ・講師として解説・助言の実施(分野:開業、学校教育旅行・国際交流・インバウンドの受入方等)。 ・国への規制緩和の提案(分野:地方の移住者等を想定した「小規模宿泊施設」の開業等) 2. 「子ども農山漁村交流」・「教育旅行民泊(ふるさとホームステイ)」の普及に寄与した。 ・講師として解説・助言の実施(分野:受入体制の整備・安全管理・教育的な効果の高め方等) ・平成20年度から国による「子ども農山漁村交流プロジェクト」の推進に関わる。 ・「教育旅行民泊の受入地域団体の登録制度」を立ち上げた。 ・「子供の農山漁村交流」に係る国等からの委員を歴任している。 ・コロナ禍では感染予防のためのガイドラインを作成・更新してきた。 3. 「農山漁村の資源・課題を活かした探究的な学習」の普及に取り組む。 ・学校等からの相談に応じて企画提案・旅行企画の実施等を行っている。			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

登録期間 令和7年10月1日～令和8年9月30日

	・講師として受入関係者を対象に解説・助言の実施(分野:探究的な学習の受入方・教材開発等)
メッセージ	<p>農山漁村は、「食料の生産地」としてだけでなく、公益的な「多面的な機能」を發揮している地域であるが、近年では過疎化・担い手不足・荒廃農地の増加・気候変動の影響等の課題が顕著となっている。これらの課題をそのままにしておけば、近い将来「国民生活への影響」も避けられなくなる。</p> <p>その解決を図るためにには、住民が「農山漁村で暮らしていくる仕組みづくり」と各地域を応援・協力していただける「関係人口の創生・拡大」が欠かせない。</p> <p>地域ごとに有する「地域資源(自然・文化等)」や「人材」は訪れる観光客や移住者等にとって欠かせない「地域の魅力・価値」である。私が勧めてきた「子供達をはじめとする多様な観光・交流の受け入れ(地域のファンづくり)」を通じて、これらの対策の一助になることを期待している。</p>
関連ホームページ	<ul style="list-style-type: none">・(一財)都市農山漁村交流活性化機構の公式サイト https://www.kouryu.or.jp・内閣官房「子供の農山漁村体験支援サイト」 https://furusato.jp/
活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。